

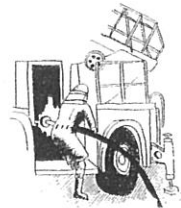


# 地域防災訓練

あなたは何回参加されましたか？

## 船橋出張所地区 防災訓練

11月20日(日)希望丘公園グラウンド  
町会・自治会の回覧や掲示板でご通知申し上げましたとおり、20日、日曜日早朝より訓練を始めました。船橋出張所管内ですので、町会・自治会が中心となって行われました。



発行：編集委員会  
編集者：板橋昇  
責任者：船橋出張所内  
☎(3482)0341  
1994年12月 NO. 47

# ちとせ

船橋会50名、船橋葎根会30名、千歳台廻沢町会50名、西経堂団地自治会15名、希望丘団地自治会30名、都賀船橋4丁目住宅自治会14名等総勢2百名参加でした。

日赤奉仕団25名は炊き出し訓練に参加されました。今回は釜でまきを燃やしての炊飯訓練でした。少々おこげのおにぎりが多かったようですが、味は上々でした。

起震車によって、最初は2分、二回目からは45秒で震度七の地震体験訓練でした。最初2分間震度七を体験した50歳の男性は、頭はふらふらでも動くことはできないとのことでした。そして2分はとも長かったという事です。大きな地震がきたら、まず体を低くして、机の下などに丸くなって地震のおさまるのを待つのがよいようです。

葎根会の可搬ポンプ団員が行った。放水が始まったとたん、先端のノズルがはずれてしまった。成城署の応援で無事放水できた。

## 船橋会防災訓練

災害に備えて  
炊き出し訓練

総合防災訓練風景(H6.9.1明正小学校)



船橋会恒例の防災訓練が、7月5日に出張所で行われました。今年の猛烈な暑さの中、5升釜二つを、昔ながらの薪炊きで仕上げました。毎年の経験を生かし、上手にできあがったご飯を、皆で手分けして梅干し入りのおにぎりにしました。沢庵二切れをおかず全員で賞味しましたが、煙にまかれ、汗だくで作ったおにぎりは何にもまれず珍味でした。

## ご意見を いただきました

船橋出張所地区のカルテ作成には、大勢の方々からご意見やご提案が寄せられました。この貴重なご意見やご提案の実現には、団体代表者による地区会議そして身近なまちづくり推進員さんによって検討されていくことになっていきます。

## 船橋葎根会防災訓練

真夏の八月第一日曜日に行う当町の防災訓練は、ここ数年恒例の行事となった。尾形炊飯部長の指導のもとに、お釜によるおにぎり作りから始まる。今年には約30名が集まり、三角巾とロープの結索訓練に長時間かけた。女性にもできる可搬ポンプ訓練を期待したが、連日のカラカラ天気から七月より続き、水不足ということがから、バケツ3杯ほどでやったが放水はできなかった。35度の中、一人も脱落者はいなかった。(島田常義)

## 地区カルテ

アルミ缶や新聞紙がゴミとして出されている。ゴミ減量、資源再利用のために取り組みをしてみたい。

街には空き缶や放置自転車が多い。行政と町会・自治会が連携して対応してもらいたい。

福祉シリーズ ◆◆その1◆◆

# 老後は自分で考えよう!



◆60歳の私が生まれたころは、人生50年と言われていた。現在は、平均寿命が80歳にもなっている。そして2020年には、四人に一人が65歳以上の老人といわれる。◆私が生まれたころは、親の面倒は子供がみるとされ、老人は隠居生活を楽しんだものだ。現在は、老後は自分(夫婦)で考えるという人が多くなってきた。アメリカの核家族に似てきた。ここでいくつかの街の声を聞いてみよう。

入院したら  
思わぬ費用がかかった!

◆今までは、高齢者だったら、入院してもタダであろうと思っていた。

◆元気な82歳のおばあちゃんが、真夜中に腹痛をうったえ、救急車で病院に運ばれた。食べ過ぎの便秘ぐらいに思っていたが腸閉塞で即入院。手術となった。その後の経過が悪く、一週間のうちに肺炎、腎炎、高血圧、糖尿病、そして脳梗塞と悪くなる一方である。半年間はあつという間に過ぎた。

◆治療費は保険でまかなえるが、付添看護手数料(一日1万円前後 二人部屋)や差額ベッド料(一日七千円)は個人負担である。オムツ代やゴム手袋などは一月3万5千円かかる。10月からは入院食事も6百円かかる。聞くところによると、これより多くかかる私立病院はいくらでもあるという。民生委員さんの助言などで看護手数料(ほぼ全額に近い額)やオムツ代(月8千円)が区より助成されること聞き、手続した。現在助成されている。また、車イスなど乗れるようになれば、区よりの助成があると聞く。

◆このおばあちゃんは保険にも入っておらず、貯金もあまりない。幸いに5人の子供が面倒をみている。

年をとるといって  
ひとりぼっちになる!



◆昭和50年ころには、緑多いこじんまりした屋敷に、老夫婦若夫婦と子供二人が楽しい家庭生活をしていた。60年ころ、家族を担うご主人が急逝された。しばらくしておばあさんも亡くなられた。数年前、孫が結婚して独立されたのを機会に、若奥様も別居され、90歳にもなるおじいさんがひとりとなってしまった。

◆それでもこのおじいさんは、人の世話にはなりたくないと食事、洗濯、買い物など、身の回りのことはすべて自分でやっておられ、国立病院への定期検査もひとりで行けるだけ歩く距離を多くして通っておられる。◆ただ友人はだんだん亡くなって少ないようす。これからだんだんと仕事ができなくなったとき、近所の人々がどれだけ応援できるか。公的な介護はどれだけできるか。やはり、みんな考えてゆかなければならないだろう。

## 老後に何が待っているか!

◆60歳の自営業の男性。30年もつれた。突然に別れた。お互いに趣味を生かした生活をと!でもダブル経済による借金もともいわれている。◆50歳の働き盛りの男性。たまにたまの回覧を見て、胃ガンの無料検査を受けた。精密検査が必要と入院し、結局は胃の三分の一を切り取った。早期発見で無事回復できた。50代から老人対策は始まるといわれている。

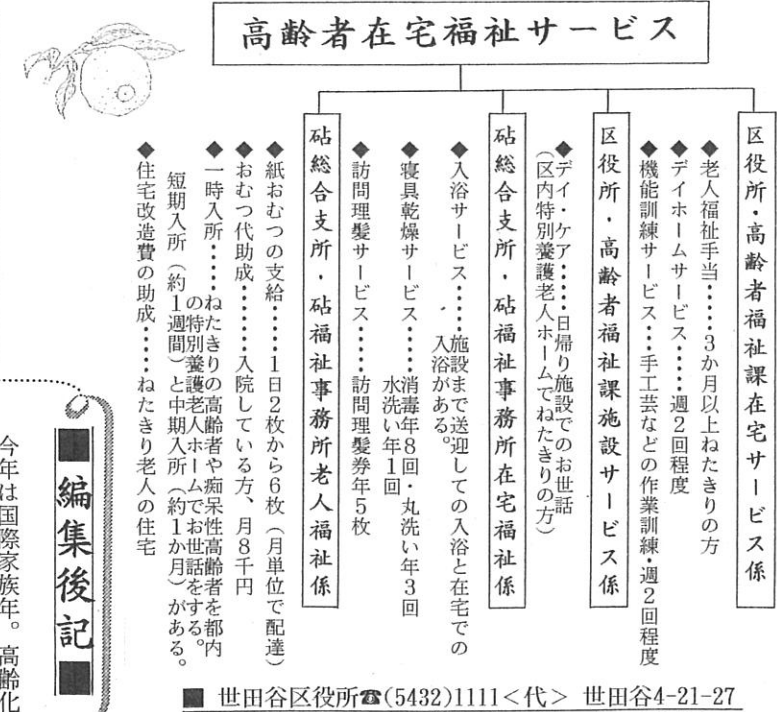


◆定年退職で最初に身につけたのは植木職人の免許だった。現在では区の施設の庭の手入れを楽しんでおられる。週一回は、かわいいおかあちゃんと外食するのが楽しみとか。◆以上匿名とさせて頂きます。◆今後、福祉シリーズとして、いろいろな問題を考えてゆきたいと思えます。ねたき介護の経験談、高齢者の生活しやすい工夫、高齢者のコミュニケーション、行政への希望など、皆さんの希望など、皆さんのたくさんのご投稿をお待ちします。

### 高齢化社会を迎えて 区ではどんな仕事をしているか!

高齢者福祉サービスは、各自が街世田谷区ではどんなことをしているか。各出張所では、窓口はあるが実際の仕事は本庁と各支所で行っている。

### 高齢者在宅福祉サービス



### 七月発行「ちとせ」の「鎌倉道」所感 鈴木鎮雄

船橋一丁目にお住まいの鈴木さんは、古い地誌に大変くわしいお方です。早速に良いご意見を「投稿くださいましたので、掲載させて頂きます。内容は簡略化しました。

一、船橋観音堂の境内にある「経塚は、「古塚」として伝承されてお見されておりません。

二、「山本勘助いなり」と記載がありますが、「山本稻荷神社」と伝承されております。

この稲荷神社は江戸初期からあったとのことです。大変くわしい資料を頂きましたので、後日掲載させて頂きます。

三、「森繁通り」昭和13年頃にきたとありますが、昭和8年に当該土地所有者の鈴木忠次郎氏と隣家の鈴木セイさんの土地を提供して新設されたものです。(船橋三丁目区内)

ありがとうございます  
ご協力により、次のように集まりました。

◆社協会費	1,349,490 円
◆共同募金	448,536 円

### 編集後記

今年には国際家族年。高齢化、青少年やいじめの問題など改めて家族が、話し合うことの大切さが感じられる年でした。各団体による船橋ふれあいまつりには、二万五千人余の入場者がありました。実行委員さん、ご協力をされました多くの方々には感謝申しあげたいと思います。

編集委員の平野千代さんが退任されました。ご苦勞さまでした。後任に高橋奈仁和さんを迎えました。よろしくお願いたします。〔S・T〕